

2024 年度 事業報告書

1 事業実施の概略

りたは、市民及び市民団体、企業が行う社会貢献活動を促進し、市民・企業・行政が相互に参加や協力するまち育てを支援することで、岡崎市の協働型社会づくりを促進することを目的として掲げている。

そして、その目的を実現するため、りたは、市民自治の観点から地域自治と多様な市民活動を支援し、地域社会での連携・協働の推進に積極的な役割を果たすことや、社会の幸福をめざし市民・企業・行政が連携・協働のもとにそれぞれの役割と責任を担う「新しい公共」の理念を社会に浸透させ、「持続可能な社会」につながるまち育てを進めていくことを使命としている。

2024 年度にりたが取り組んだ主な事業は、以下のとおりである。

- ・市民協働まちづくりを推進するための拠点施設を運営する地域交流センター（5館）指定管理事業と
りぶら市民活動センター運営事業
- ・地域の担い手不足などの喫緊の課題を地域で解決していくことを支援する地域包括ケアシステム支
援業務、下山地域運営組織設立支援事業、カーボンニュートラル人材育成事業
- ・岡崎市が公民連携による公共空間の利活用を進める公園愛護運営会等設立支援業務
- ・これまで培ってきた市民協働のノウハウを活かし、県内各地域でのまちづくり推進や地域課題の解
決を支援するまち育ての専門家派遣事業

以下、本年度に掲げた注力すべき 3 つの主要テーマに沿って、主な成果を記す。

テーマ1 地域活力を高める

市民活動および地域活動の拠点施設（地域交流センター）の管理運営を通じて、市民自治・地域自治の礎となる地域の担い手を掘り起こし、市民活動団体による公益活動の場づくり、中学生・高校生・大学生の社会参加の場づくり、市民活動や地域活動へのボランティアマッチング（まちびとバンク）を推進した。

日常的な窓口業務や情報の受発信、事業実施により蓄積されたネットワークを活かし、地域の課題解決や地域資源を活用する担い手を掘り起こし、市民協働型社会の実現に向けた活動を行った。

【該当事業】地域交流センター指定管理、まちびとバンクほか

テーマ2 地域資源を活かす

公園、鉄道駅などの公共空間、そしてそうした場所を積極的に活用する市民、団体、事業者を地域の資源としてとらえ、公共空間のより豊かな使われ方を見出し、その場所ならではの価値として意味付け、それらを具現化し、持続させるための活動と結びつけ、地域の魅力向上に貢献した。

【該当事業】公園愛護運営会設立等支援業務、「三郷駅前周辺まちづくりデザイン意思決定支援業務」
に関するコンサルティングほか

テーマ3 地域課題を解決する

少子高齢化、空き家の増加、防災、子育て支援など、山積する地域課題に対して、地域包括支援センター、岡崎市社会福祉協議会、学区福祉委員会など既存の担い手との連携や、社会貢献意欲のある個人

や団体、ボランティアなどの担い手の発掘およびマッチングを通じて、地域の課題解決を支援した。

【該当事業】地域包括ケアシステム支援事業、下山地域運営組織設立支援事業、カーボンニュートラル人材育成事業、西梅園地域菜園プロジェクト、市民活動支援ほか

各事業の詳細は以下に記す。

2 事業の実施に関する事項

(2024年度 実施事業一覧)

定款項目	事業名
ア まち育てに関する相談や助言事業	アー1 りぶら市民活動センター運営事業
イ まち育てに関する学習機会の提供事業	イー1 まち育てインター受入事業 イー2 カーボンニュートラル人材育成事業
ウ まち育てに関する情報収集と発信事業	ウー1 法人広報強化事業
エ まち育ての専門家の育成と派遣事業	エー1 まち育てコーディネーター養成事業 エー2 まち育ての専門家派遣事業
オ まち育てに関する調査研究、政策提言事業	オー1 地域包括ケアシステム支援業務 オー2 西梅園地域菜園プロジェクト
カ 市民と企業と行政をつなぐまち育て支援事業	カー1 公園愛護運営会設立支援等業務 カー2 下山地域運営組織設立支援事業 カー3 「三郷駅前周辺まちづくりデザイン意思決定支援業務」に関するコンサルティング カー4 愛・地球博記念公園マネジメント会議運営補助業務 カー5 安城地区公園再整備基本構想策定ワークショップ
キ まち育てを支援する拠点施設の管理運営事業	キー1,2,3,4,5 岡崎市地域交流センター（北部・南部・西部・東部・六ツ美分館）指定管理事業

ア まち育てに関する相談や助言事業

アー1 りぶら市民活動センター運営事業

(ア) 事業内容

りぶら市民活動センターは、「協働する意欲のある市民の参画意識の醸成と市民活動全般の活性化を支援する」ことを目的とした岡崎市受託事業である。業務内容としては、①市民活動支援（情報収集及び提供、窓口相談、公益活動促進事業等の実施等）、②情報ひろば（市民活動団体の情報を掲載したWEBページ）の運用管理、③地域交流センターとネットワーク形成（会議運営等）等を行っている。

(イ) 実施時期 2024年4月～2025年3月 開館日の9:00～21:00

(ウ) 実施場所 岡崎市図書館交流プラザ・りぶら2階市民活動総合支援センター内

(エ) 従事者 鈴木 (千) 【センター長】、高木、宮地、鈴木 (香)

(オ) 事業収入 9,783,761 円 (岡崎市からの事業受託費より繰り入れ他 担当課：市民協働推進課)

(カ) 成果

事業の成果としては、情報発信事業として実施した①情報誌「まちのワ！」発行（地域交流センターと合同発行）、②事業者連携（東海愛知新聞社）、③学校連携（岡崎商業高校）が挙げられる。

①市内全戸回覧の情報誌「まちのワ！」では、2ページ・4ページにおいてボランティアマッチングの統計及び体験の取材記事、まちびとバンク/まちびとステージ/ものものバンクについてのトピックスを掲載し、ボランティアに参加しやすい情報を提供するとともにボランティアに関する意識向上に努めた。

②事業者連携では、東海愛知新聞社の協力により4月～3月に発行した東海愛知新聞に市民活動団体の紹介記事を掲載し、各市民活動を活性化させるための一助とすることができた。

③学校連携では、市民活動団体の活動をPRするための動画作成を岡崎商業高校が担当し、市民活動センターはこの取り組みの広報と申込窓口を担当し、マッチングを行った。作成した動画は岡崎市市民活動団体紹介チャンネル「Okazaki Civic Collaboration TV」と【公式】岡崎商業高校 OKA SHOW TIMES - YouTube-に投稿され、市民活動団体の活動を広く市民に届けるツールとして活用されている。また、市民活動センター・全地域交流センター窓口でも再生されており、センターの利用者・利用団体に向けて、取り上げられた団体の活発な活動をPRすることができた。

今年度特筆すべきこととしては、10/1より開設された、市民活動センターと地域交流センター合同のFacebook・インスタグラムの運用が挙げられる。市民活動センターは、ボランティア情報の他、各種助成金・補助金情報を適宜投稿し、広報に努めている。

その他、事業の実施結果については、次の図表に示す。

業務名／事業名	内 容	時 期	参加者
市民活動情報の収集及び提供	・ポスター・チラシの受付、掲示・配架 ・市民活動団体向けメールマガジン発行 ・市民活動センターホームページの更新 ・活動コーナーにモニターを設置し、市民活動に有益な情報を提供	通 年	チラシ等の受付：731 件 メールマガ：登録団体（286団体）に年6回送付
市民活動相談	市民活動に関する相談対応を行った。	通 年	相談件数：121 件
市民活動情報ひろば入力支援	市民活動団体向けに、情報ひろばの利用促進を狙い、窓口にて入力支援を行った。	通 年	対応件数：61 件※延べ件数
市民活動団体の登録、変更、廃止受付	市民活動団体登録を目指す団体へのアドバイス、登録申請の受付、既団体の登録変更、廃止の受付を行った。	通 年	新規：10 件 変更：67 件 廃止：25 件 ユーザー追加：11 件 ユーザー削除：1 件
まちびとバンク事業(ボランティアマッチング)	ボランティアをしたい市民とボランティアを必要としている団体のマッチングを行いボランティア活動の促進に努めた。	通 年	新規登録：1 名 依頼： 73 件（地交分） 24 件（市活分）

			マッチング： 6164 件 (地交分) 554 件 (市活分)
まちびとステージ	自分の経験・特技を活かせる場所を積極的に探している個人・団体に対して、活躍場所のマッチングを行った。	通 年	依頼： 28 件 (地交分) 10 件 (市活分) マッチング： 116 件 (地交分) 28 件 (市活分)
もののものバンク事業	不用品を提供いただき、必要としている団体にマッチングすることで団体が抱える「モノ」不足を解消することに努めた。また、モノの有効利用にもつながった。	通 年	<譲ります> 受入:25 品、成立:35 件 <レンタル用物品> 受入:0 品、成立:14 件 <探しています> 受入:3 件、成立:2 件
情報発信事業 「情報誌（まちのワ！）発行」、 「事業者連携（東海愛知新聞社）」、 「学校連携（岡崎商業高校）」	地域交流センターと合同発行の「まちのワ！」において、取材や情報収集を行い市民活動の活性化のため記事を掲載した。また、事業者（東海愛知新聞社）と連携し、市民活動団体の紹介記事を東海愛知新聞に掲載し、情報発信を行った。学校（岡崎商業高校）と連携し、市民活動団体 PR 動画作成の受付窓口となった。	通 年	<情報誌記事掲載> P1 (3 月号) P2・P4 (5・7・9・11・1・3 月号) <東海愛知新聞掲載> 9 回 (4-3 月/毎月 1 回) 掲載団体：108 団体 <市民活動団体 PR 動画作成>2 団体

イ まち育てに関する学習機会の提供事業

イー1 まち育てインターン受入事業

(受入れなし)

※例年職員を受け入れていた「愛知県採用 2 年目職員研修」については、インターン生受入れ型ではなく、研修講師としての派遣となったため、「イー2 まち育ての専門家派遣事業」として取り扱い、記載している。

イー2 カーボンニュートラル人材育成事業

(ア) 事業内容

2050 年ゼロカーボンシティの実現に向けた脱炭素気運を市域全体に広げるため、特に 2030 年、2050 年という節目に、社会の中核を担う現在の小中学生から大学生までの世代において、単に環境問題として認識し、知識を身に着けるだけでなく、「脱炭素視点」も踏まえ、ふるさと岡崎市の発展に貢献してもらえるような人材を育成することを目的として、環境教室の開催、市内でカーボンニュートラルへの取組を実施している企業へ取材・執筆を通じた人材育成プログラムを実施した。

(イ) 実施時期 2024 年 5 月～2025 年 3 月

(ウ) 実施場所 岡崎市内各所

(エ) 従事者 天野、岩川、阪口

(オ) 協働先 グリーンフロント研究所（株）

(カ) 事業収入 3,993,000 円（岡崎市からの事業受託費より繰り入れ

担当課：ゼロカーボンシティ推進課

(キ) 成果

- ・作成したプログラムを活用して実施した環境教育講座では、参加した児童全体において概ね良好な反応が得られた。特に、プログラム導入部で実施した「水の飲み比べ」をテーマとした体験学習では、児童の関心を自然に喚起する内容となっており、当該講座の展開において高い教育効果が認められた。
- ・昨年度に引き続き、環境コンサルタントであるグリーンフロント研究所株式会社との協働体制を継続したことにより、カーボンニュートラルに積極的に取り組む企業に対するアプローチを円滑に実施することが可能となった。さらに、当該企業への取材および記事執筆を含む人材育成プログラムの一環として、高校生有志が参加した結果、二酸化炭素排出量の算出手法に関する基礎的理解を深めるとともに、各企業の具体的な取組内容についても詳細に把握することができた。

ウ まち育てに関する情報収集と発信事業

ウー1 法人広報強化事業

(ア) 事業内容

Web でりたの事業内容を分かりやすく情報発信するため、法人ホームページを改修に着手した。ホームページ内のアーカイブを整理する等、より多くの閲覧者に分かりやすく情報を提供できる形に変更した。

(イ) 公開日 2024 年 6 月 20 日

(ウ) 従事者 3 名（天野、岩川、加納）

(エ) 事業収入 0 円（事業支出は一般管理費より充当）

(オ) 成果

TOP ページのデザインを、HP ユーザーがスムーズに情報を見つけやすくなるよう配慮した、使いやすさを重視したデザインに変更。こうしたデザインにすることで、より多くのユーザーがアクセスしやすくなった。

エ まち育ての専門家の育成と派遣事業

エー1 まち育てコーディネーター養成事業

(ア) 事業内容

今年度新たに入社したスタッフに対し、岡崎市内の NPO/市民活動の潮流とりたの位置づけや業務の概要等について解説し、中間支援組織の一員として業務に従事できるよう教育を実施した。一方、管理職向けには、定例会議の場を利用してミニ勉強会を開始し、りたの各事業展開や、団体支援ノウハウ、岡崎市内のまちの課題等を共有し、意見交換を行った。

また、りたの専門性である「ワークショップ手法、会議ファシリテーション」について、セ

ンター長クラスを対象に、改めてその方法論の理論や技術のリスクリキングをし、定着を図る「WS／ファシリ力 UP 研修」を行った。

(イ) 実施時期

- ・新人研修：2024年11月26日、12月10日・24日（3日開催、全6コマ）
- ・管理職向け：2024年4月12日、5月10日、7月12日、8月16日、9月7日、10月11日、2025年1月10日、2月7日、3月7日（全9回）
- ・ファシリ研修：2024年7月9日～2025年2月28日（全4回+個別の実践）

(ウ) 実施場所 岡崎市地域交流センター（西部、東部、六ツ美）、オンライン

(エ) 従事者

- ・新人研修：（講 師）天野、三矢、深田、平岩、石田、藤岡
(受講者) 鈴木ひ（北）、星野（南）、大滝、西村、土田（西）、久保田（東）、鈴木香（市活）、二宮（事務局）
- ・管理職向け：（講 師）築瀬、天野、深田、平岩、岩川
(受講者) 築瀬、大久保、天野、深田、平岩、藤岡、加藤、石田、小早川、阪口、鈴木紀、鈴木千、岩川
- ・ファシリ研修：（講 師）三矢、長谷川
(受講者) 加藤、石田、小早川、阪口、鈴木紀、鈴木千、岩川

(オ) 事業収入 0円（事業支出は一般管理費より充当）

(カ) 成果

- ・新人研修：りた職員に求められる基本的な考え方や基礎的な知識を習得。多岐に渡るりたのまちづくりにおける中間支援の概要に触れることで、職員としての自覚を促した。
- ・管理職向け：事業のプロジェクト担当者（リーダー）等から、事業のポイントや課題分析を直接聞き、意見交換することで、まち育てコーディネーターとして地域に関わる意義を改めて認識し、その方法論を学んだ。
- ・ファシリ研修：ワークショップ手法、会議ファシリテーション及びファシリテーショングラフィックについての理論や技術のリスクリキングを行い、さらに交流センター事業で実践を積んだことにより参加者の主体的な関与を促す場づくりが可能となり、地域の多様な声を引き出す力が向上した。

なお、上記以外にも、センター長以上のスタッフを主な対象として、外部研修を積極的に活用した。事業企画・施設運営に役立てるとともに、まち育てコーディネーターとしての知見・ネットワークを広め、地域交流センター・市民活動センターの施設役割強化や、まち育て事業における事業運営の向上・新規事業開発につなげることができた。

例として、

- ・「学生コーディネーションの基礎講座」（NPO法人アクションポート横浜）
- ・「これからの中間支援を考えるシンポジウム」
(中間支援機能に関する研究会/「これからの中間支援を考えるシンポジウム」実行委員会)
- ・「災害時に市民活動センターが、出来ること、期待されること」
(愛知県内市民活動支援センター情報交流会)
- ・QURUWA 事業リノベーションスクール（QURUWA 事業リノベーションスクール実行委員会）

エー2 まち育ての専門家派遣事業

(ア) 事業内容

岡崎市近郊での講義・ワークショップ実施や岡崎市内の先進事例の紹介、各種委員会や審議会への助言ならびに政策提言を担った。

(イ) 実施時期 2024年4月1日～2025年3月31日

(ウ) 会場 岡崎市、名古屋市

(エ) 従事者 築瀬、天野、深田、平岩、藤岡、小早川他

(オ) 事業収入 3,027,550円（各機関・団体等より受託）

(カ) 成果

- ・市内で実践した各事業の成果が県内の各地域などからの評価につながり、様々な派遣依頼につながった。その評価を踏まえ、市内の他地区へのノウハウ移転や他の地域課題に対する複合的な解決策の提示を推進することができた。
- ・今年度については、複数メンバーで実施する単発ワークショップ運営等の事業受託が増加し、それぞれの主催者・参加者のニーズに合わせた課題解決につなげるための場づくりや支援を行なうことができた。

〔専門家派遣リスト〕

(天野担当分 3事業)

- ・愛知県「まち・ひと・しごと創生シンポジウム」(10/21)
- ・愛知県「2024年度採用2年目職員研修(NPO・福祉)」(11/28)
- ・愛知県「NPOと行政のテーマ別意見交換会」(12/17)

(複数メンバーで担当 7事業)

- ・岡崎市 岡崎公園あり方検討業務 (7月～3月)

従事者：天野、石田

- ・ミクスネットワーク株式会社 スマートシティモデル事業 防災実施支援 (7月～2月)

従事者：平岩、深田、小早川

- ・NPO法人地域福祉サポートちた 北部地域交流センター弥富市関係者視察 (9/11)

従事者：平岩、深田

- ・岡崎市 空き家等流通・活用促進プラットフォーム (11月～3月)

従事者：天野、加藤

- ・岡崎市 岡崎市市民協働実務担当職員研修業務 (11/7)

従事者：平岩、深田、小早川

- ・岡崎市総代会連絡協議会 総代会長会研修 (1/10)

従事者：深田、平岩、藤岡、加藤、小早川、阪口、鈴木紀、岩川、大久保

- ・愛知県「あらためて協働を考えるフォーラム」分科会 企画・事例報告 (2/10)

従事者：天野、藤岡

●委員会等での助言

(築瀬担当分 1事業)

- ・乙川リバーフロント地区まちづくりデザイン会議 (5/15, 11/20, 2/12)

(天野担当分 4事業)

- ・岡崎市景観審議会 (8/1, 2/17)
- ・乙川リバーフロント地区まちづくりデザイン会議 (5/15, 11/20, 2/12)
- ・乙川リバーフロント地区かわまちづくり協議会 (12/11)
- ・岡崎市景観整備機構連絡協議会 (2/3)

(深田担当分 3事業)

- ・岡崎市歴史まちづくり協議会 (7/12、12/25、3/18)
- ・岡崎市文化財保存活用地域計画協議会 (3/18)
- ・岡崎市市民協働推進委員会 (2/26)

(平岩担当分 2事業)

- ・岡崎市観光基本計画推進計委員会 (11/21、3/19)
- ・岡崎市生涯学習推進委員会 (2/20)

(藤岡担当分 1事業)

- ・愛知県NPOと行政の協働に関する実務者会議 (7/18、11/12)

(小早川担当分 2事業)

- ・岡崎市地域福祉計画事業検討部会 (5/29、9/18、1/15)
- ・岡崎市社会福祉協議会ボランティアセンター運営委員会 (7/11、3/6)

オ まち育てに関する調査研究、政策提言事業

オー1 地域包括ケアシステム支援業務

(ア) 事業内容

多様な担い手による高齢者の日常生活上の支援体制の充実・強化、及び社会参加の推進を一体的に図り、地域包括ケアシステムの構築さらには地域共生社会の実現に向けて、市内20の地域包括支援センターの支援（新任期職員研修、地域支援者研修、広報支援等）を行った。

(イ) 実施時期 2024年4月1日～2025年3月31日

(ウ) 実施場所 岡崎市内各地

(エ) 従事者 天野、長谷川、小嶋、三矢

(オ) 事業収入 4,130,000円（岡崎市からの事業受託費より繰り入れ 担当課：ふくし相談課）

(カ) 成果

生活支援コーディネーターに必要な地域診断やステークホルダーとの関係構築、広報の企画・編集等の研修・相談を通じて、包括支援センターの人材育成やチームビルディング、学習・交流機会の創出に寄与した。

オー2 西梅園地域菜園プロジェクト

(ア) 事業内容

接道しておらず再建築ができないため空き家の増加と後継世代の流出が進む西梅園地区で、地域活力の向上と路地街区の再生に向けて、町内会や民間事業者・市民団体等と連携し、地域住民及び地権者を対象とした不動産活用意向調査と空き地・空き家を活用した地域交流を促す菜園の整備・運営を行った。

(イ) 実施時期 2024年4月～2025年3月

(ウ) 実施場所 西梅園地区

(エ) 従事者 天野、岩川

(オ) 協働先 西梅園町内会、岡崎市中央地域福祉センター、中央地域包括支援センター、岡崎市ふくし相談課、岡崎市住環境整備課、岡崎市まちづくり推進課

(オ) 事業収入 1,150,000円（ハウジングアンドコミュニティ財団からの助成金より繰り入れ）

(カ) 成果

- ・まちづくり推進課 QURUWA 係が実施する「事業リノベーションスクール」への参加を通じて、拠点施設キノエノ* farm house の整備・運営に関して専門家からのアドバイスや、同スクール参加事業者（スノーピークビジネスソリューションズ、山田農園、）の協力を得ることができた。
- ・西梅園町内会、中央地域福祉センター、中央包括支援センター、岡崎市ふくし相談課の協力により、月1回の茶話会を通じて地域住民との関係性構築が円滑に進み、不動産情報が寄せられるようになってきた。
- ・岡崎市住環境整備課と連携し、無接道・狭い道路に面した不動産の活用方法について具体的課題と解決策について検討することができた。

カ 市民と企業と行政をつなぐまち育て支援事業

カー1 公園愛護運営会設立支援等業務

(ア) 事業内容

既存の公園愛護運営会の運営上の課題やノウハウについて意見交換・交流を図る「情報交換会」および改修が予定されている矢作公園の活用法を検討するワークショップの企画・運営、地域住民による主体的な公園の管理・活用を推進する「公園愛護運営会」の運営支援を行った。

(イ) 実施時期 2024年4月～2025年3月

(ウ) 実施場所 岡崎市内

(エ) 従事者 天野、小早川、斎藤

(オ) 事業収入 2,398,000円（岡崎市からの事業受託費より繰り入れ 担当課：公園緑地課）

(カ) 成果

- ・7月に実施した情報交換会で公園愛護運営会の認知度の低さが課題として指摘されたことから、市政だよりで取り上げてもらえるよう広報課に働きかけ、その結果、市政だより1月号に「公園愛護運営会」の特集記事が掲載され、市民から複数の問合せをいただいた。
- ・矢作公園ワークショップでは、地域役員を中心に実施したプレWSで公園利用の実態を把握し、本WSでは、やはぎかん協力により幅広い年代に参加いただき、具体的な活用案として①防災イベント、②地域交流イベント（餅つき等）、③自然あそびが提案された。それぞれ活動の担い手の存在も把握できたため、次年度は実際に実現に移せるよう地域との対話を進めていきたい。

カ-2 下山地域運営組織設立支援事業

(ア) 事業内容

下山学区の持続可能な地域づくりに向けて、①岡崎市下山学区地域づくり協議会の運営支援、農村型RMOの体制検討および事業計画（案）の作成、②オクオカ活性化拠点下山（YAMABIKO、旧JA下山支店）活用の可能性を探る事業者ヒアリングを行った。

(イ) 実施時期 2024年4月～2025年3月（2022年4月より3ヵ年を予定）

(ウ) 実施場所 下山学区

(エ) 従事者 岩ヶ谷、天野

(オ) 協働先 ONE RIVER、岡崎市下山学区地域づくり協議会、岡崎市社会福祉協議会

(カ) 事業収入 4,424,200円（岡崎市下山学区地域づくり協議会からの事業受託費より繰り入れ

担当課：中山間政策課）①2,217,600円、②2,206,600円

(キ) 成果

①地域づくり協議会の運営支援を通じて、体験農園「となりの田んぼ」の実施（ONE RIVERが企画・実施を支援）、YAMABIKO青空市・喫茶YAMABIKO、YAMABIKO食堂の実施、地域支え合い車両YAMABIKO号の運行、YAMABIKO通信の発行などの活動の成果と課題を整理し、運営方法の見直し・改善を行った。

また、3年間の国の補助期間を終えるにあたり、組織体制を再構築した。

②YAMABIKOを地域づくりに資する形で有効活用してくれる事業者を10社ほどリストアップし、5社にヒアリングを実施。実際に活用する上での課題や障壁を把握し、今後どのような形で利用することが望ましいか、条件整理と具体案の作成を行った。

カ-3 「三郷駅前周辺まちづくりデザイン意思決定支援業務」に関するコンサルティング

(ア) 事業内容

尾張旭市は三郷駅前開発事業の推進に際し、愛知県立芸術大学とまちづくりに関する協定を締結した。愛知県立芸術大学はこれを受け、「愛知県立芸術大学受託事業三郷駅前周辺まちづくりデザイン意思決定支援業務（以下本事業）」により、地権者を含む三郷駅周辺市民らが駅前開発事業区域及びそれを核とした近隣のまちづくりの推進に貢献しようとしている。本事業はこれらを踏まえ、再開発基本計画への市民意見の反映と、駅周辺のエリアマネジメントの機運醸成や体制づくりを念頭に、各種のワークショップ、社会実験、フォーラムを開催した。

- (イ) 実施時期 2024年4月～2025年3月
- (ウ) 実施場所 尾張旭市役所ほか
- (エ) 従事者 三矢、長谷川、加納
- (オ) 事業収入 3,888,500円 (愛知県公立大学法人からの事業受託費より繰り入れ)
- (カ) 成果
- ・三郷駅前再開発事業で生まれる公共空間（広場や公共施設）の活用促進や、駅周辺のまち育てを推進する市民まちづくりのプラットフォームとして「35フレンズ」が発足し、2年目を迎えた。昨年度発足した分科会をリセットし、「部活（まちなかCAMP、本と映画と音楽、アート、子ども）」という形で、より市民主体の活動を起こす一年となった。
 - ・駅前再開発ビルの基本計画の進捗により、公共施設領域の輪郭がみえてきた。これを踏まえ、未来の三郷駅前に生まれる公共施設のコンテンツイメージを可視化、共有する社会実験「35フェス」を開催した。場所は、イトヨーカドー尾張旭店の屋上駐車場である。1フロア、30m四方の空間を原寸体験する仕掛けを行った。ヨーカドーでの集客効果もあり、1000人が来場する場となった（同店は2月に閉店したが、後のテナントとも協力関係が築けた）。
 - ・年度の成果取りまとめとなるフォーラムも開催した。ゲスト講師を招いた講演会では、各務原の暮らし委員会の取り組みを学んだ。なかでも「寄り合い」と呼ばれる、緩やかな場の持ち方は関係者に共感を呼び、2025年度に実装していく見込みである。

カー4 愛・地球博記念公園マネジメント会議運営補助業務

- (ア) 事業内容
- 愛・地球博記念公園マネジメント会議（NPO、企業、大学、行政など総勢70程度の会員が参加）の会議ファシリテーション支援を行なった。
- (イ) 実施時期 2024年5月～2025年3月
- (ウ) 実施場所 地球市民交流センターほか
- (エ) 従事者 三矢
- (オ) 事業収入 583,000円 (日本工営都市空間株式会社からの事業受託費より繰り入れ)
- (カ) 成果
- ・ジブリパークが全面開業され、「ジブリパークのあるモリコロパーク」という新しい日常が始まった。マネジメント会議会員有志らにより、ジブリパークの客さんを含めた多様な来園者への満足度をどう高めるのかが新しい課題として浮上した一年となった。
 - ・ジブリパーク開業により、駐車場の場所が変更され、これが同時に来園者の動線が変更されることとなった。ジブリパークの5つの施設がモリコロパーク内に点在しており、ジブリパークの管理区域は、ジブリ社により管理運営されている。関連して、ジブリパークの5つの施設周辺では「ジブリの世界観を壊さないこと」がジブリ社から要望されている（愛知県、指定管理者、ジブリ社の三者協定がある）。
 - ・以上を踏まえて、チャレンジスペース（園内の特定の区域の使い方について、試行錯誤することを決定した場所）を改めて、以下2か所を設定した。①もののけの里に隣接する場所（サトラボ区域）あたりで、どのような方法であればジブリ社の了承を得て取り組みができるか。②西側エントランスは、新しい動線における結節点で、多くの来園者が交錯する場所だが、一方でジブリパークの施設とは離れており、新しいにぎわいの場となりうる。

カ－5 安城地区公園再整備基本構想策定ワークショップ

(ア) 事業内容

安城市では、市内にある4つの地区公園（秋葉公園、柿田公園、堀内公園、川島河川敷公園）リニューアルに向けた構想策定が進められている。この構想策定に向けて、専門家による委員会や市民アンケートなど様々な検討プロセスがあり、その一つが「市民ワークショップ」である。この構想策定業務全体を株式会社プレック研究所が受託し、市民ワークショップの部分を、りたが担当する。2025年度までの2か年にわたり、全4回のワークショップを開催し、構想策定に向けて、市民意見を反映する。

(イ) 実施時期 2024年11月～2025年3月

(ウ) 実施場所 安城市役所ほか

(エ) 従事者 三矢、長谷川、斎藤

(オ) 事業収入 1,500,000円（株式会社プレック研究所からの事業受託費より繰り入れ）

(カ) 成果

- ・年度内に実施したワークショップは1回（2025.2）である。ここでは、40名弱の市民が集り、相互に知り合うコミュニケーションをとった。4つの地区公園の構想を同時に検討する、という業務内容の性格を踏まえ、参加者には、自分が関心の高い公園以外の公園を含め、理解を深めてもらった。
- ・1回目のワークショップの成果目標は、「現状の公園の魅力や課題の可視化」であり、その成果は得られた。その成果として、①現状、それほど活用が進められていない川島河川敷公園は、新しい魅力を附加していく、②自然豊かで生き物との出会いも楽しめる現状の良さは継承発展させる、③地区公園としての特性（比較的大規模）を踏まえ「遠くても行きたくなる魅力な公園」を合言葉に進める、こととなった。

キ まち育てを支援する拠点施設の管理運営事業

キ-1,2,3,4,5 岡崎市地域交流センター（北部・南部・西部・東部・六ツ美分館）指定管理者事業

(ア) 事業内容

「市民活動を活性化させることにより市民相互の交流を促進し、活力に満ちた地域社会の実現に寄与する施設」である岡崎市地域交流センターを、指定管理者として管理運営を行った。市民活動の支援、市民サービスの拡充を目的として、貸館業務、市民活動の啓発や発展につながる研修や交流会、イベント、情報誌「まちのワ！」の発行やSNSなどを通じて、市民活動や地域活動の情報の受発信を行った。

(イ) 実施場所 岡崎市北部地域交流センター・なごみん

岡崎市南部地域交流センター・よりなん

岡崎市西部地域交流センター・やはぎかん

岡崎市東部地域交流センター・むらさきかん

岡崎市地域交流センター六ツ美分館・悠紀の里

(ウ) 開館日時 火曜日～日曜日（月曜定休が基本） 9:00～21:00

(エ) 従事者

統括管理責任者	平岩
事業運営責任者	深田
施設保守管理責任者	高柳
【なごみん】	加藤（センター長）、田中（副センター長）、 神谷、市川、吉開、鈴木ひ、今村、岩城、田邊
【よりなん】	石田（センター長）、青山（副センター長）、 永井、石本、板谷、星野、石野、鈴木麻
【やはぎかん】	小早川（センター長）、岩川（センター長代行）、 安藤（副センター長）、 水澤、鈴木田、西村、大滝、土田、中西、野倉
【むらさきかん】	阪口（センター長）、浦野、手嶋、図師、亀山、 久保田、稻垣、鈴木孝、鈴木雅
【悠紀の里】	鈴木紀（センター長）、磯貝（副センター長）、 吉岡、杉浦千、久永、川田、山本澄、堀井、山本勝 岡田貴、鈴木二、清家
施設保守・修繕	天野裕、三矢、岡田貴、藤岡
高度相談対応職員	藤岡、永谷、柏崎、二宮、岩川、近藤
拠点担当総務	

(オ) 事業収入 176,078,715 円

(岡崎市からの事業受託費他より繰り入れ他 担当課：市民協働推進課)

(カ) 事業の実施概要・成果

① 利用者数

利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	年目標
なごみん	5,280	5,516	5,380	6,557	8,818	6,844	5,034	6,592	6,364	5,071	6,139	7,314	74,909	67,000
よりなん	8,638	7,787	8,473	8,257	7,362	7,472	7,824	8,426	7,665	7,724	7,572	9,829	97,029	97,000
やはぎかん	7,069	8,593	7,114	7,966	7,296	8,115	7,410	8,883	7,092	6,855	7,364	8,515	92,272	86,000
むらさきかん	7,280	7,818	8,318	7,772	6,885	7,067	9,313	7,286	7,383	7,040	8,925	8,784	93,871	90,000
悠紀の里	5,596	6,067	9,158	8,197	6,431	7,040	7,391	8,604	7,322	5,726	12,121	7,493	91,146	70,000
合計	33,863	35,781	38,443	38,749	36,792	36,538	36,972	39,791	35,826	32,416	42,121	41,935	449,227	410,000

達成率： 110%

昨年度の交流スペースの利用制限緩和やプレイルームの土日祝日開放開始、天井耐震工事で7か月間閉鎖していたやはぎかんホールの再開等の周知が進み、昨年度実績から月平均3千人増のペースで推移した。それに加えて、2月に開催した悠紀の里周年イベントの影響もあり、年目標を上回った。コロナ禍以降、比較的少人数での活動室利用が多くなっている傾向がある一方、徐々に大人数でのイベント利用も増えてきている。また、交流スペースやプレイルームの利用者も増加傾向にある。

② ボランティアマッチング数

ボランティア	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	年目標
なごみん	38	54	62	268	246	32	120	73	40	37	44	57	1,071	700
よりなん	241	79	351	188	239	125	170	133	92	109	42	41	1,810	1,600
やはぎかん	135	115	270	242	177	157	131	115	57	83	78	29	1,589	1,200
むらさきかん	15	43	31	144	25	23	230	33	136	22	17	137	856	700
悠紀の里	100	20	62	133	26	25	49	24	155	8	224	20	846	800
合計	529	311	776	975	713	362	700	378	480	259	405	284	6,172	5,000

達成率： 123%

まちびとバンクでボランティア募集をした施設ボランティア（ふれあいひろば事業）において、市民参加型の館内装飾プログラムでプレイルームに来る親子や交流スペースに滞在している学生などがボランティアとして関わってくれたことで、マッチング数の増加につながった。これは、特によりなんと悠紀の里において、今年度新たなプログラムを考え館内装飾の企画数やガーデン整備の活動回数を増やして取り組んだ結果ともいえる。また、外部からのボランティア募集依頼で子ども食堂や地域の環境美化活動等へのマッチング件数も増えてきており、全センターでの年間目標5,000人に対して6,172人と目標数値を大幅に上回り達成することができた。

さらに、まちびとステージと称し、特技を活かす場所や機会を募集しマッチングする取り組みでは、年間28件応募に対し、高齢者施設や子ども会、老人会等を中心に全センターで116件のマッチングに至った。この取組みは市民活動団体に対する公益活動の機会づくりにもつながっている。

地域交流センターでの活躍の受け皿づくりと外部からの依頼に対する丁寧なヒアリングがマッチングにつながり、ボランティア活動の活性化につながっている。

③ 事業への参加・協力団体数

参加・協力団体	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			合計	年目標
	協力	参加	出展											
センター名														
なごみん		8			8				10		1	4	31	50
よりなん		12							19				15	46
やはぎかん	3	15	17	3	11		3	17	2				71	50
むらさきかん		20			21						2	20	63	50
悠紀の里		6			2	28	2	2		17	17		42	116
合計	3	61	17	13	60	2	5	46	19	20	24	57	327	250

各地域交流センターが開催する研修や交流事業、地域連携事業において、市民活動団体や事業者等が関わった団体数を示している。関わり方に応じて、以下の3つに分類して数えている。

- ・協力) 事業の企画段階から協力、協働関係をもって関わった場合
- ・参加) 事業当日に参加した場合
- ・出展) 事業当日にブースや発表などを行った場合

なごみんとよりなんにおいては年間目標50という参加・協力・出展団体数に届かなかつたが、悠紀の里の10周年記念事業「ゆきフェスタ」で大きく出展数を伸ばすなど、全体としては年間の目標を大きく上回ることができた。センターが企図する事業によっては、参加団体が少ない方が質の高い話し合いができる良い事業になるケースもあるため、思うように目標値に達せられない面もあったが、センターごとに差が大きくなりすぎてしまった点は、次年度への課題であると考えている。市民活動団体や地縁団体、事業者などの繋がりを早い段階でいっそう広げ、連携と発展が図りやすくなる基盤をつくっていきたい。

④ アウトリーチ

アウトリーチ	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	年目標
なごみん	8	4	7	2	1	2	1	1	2	8	2	4	42	24
よりなん	7	6	0	0	2	0	0	5	0	0	4	4	28	24
やはぎかん	11	6	3	1	0	4	1	3	4	2	0	3	38	24
むらさきかん	10	4	5	6	2	1	2	3	1	1	1	0	36	24
悠紀の里	10	2	2	1	5	6	4	0	1	2	0	2	35	24
合計	46	22	17	10	10	13	8	12	8	13	7	13	179	120

達成率： 149%

地域内の事業者や学校、NPO 等に、ニーズ調査や交流センターの活用促進 PR、事業での協力体制の模索等のヒアリングを行い、年目標を達成した。アウトリーチにより、有益な情報収集ができた：80 件、センターPR ができた：116 件、センター事業への参画につながった：82 件、他団体を紹介またはマッチングできた：7 件という成果が得られた。情報を分析し、今後のマッチング等へ活用していく。

⑤ 市民活動に関する研修及び交流事業の企画立案

(1)市民活動の支援や推進に係る研修

事業名	実施場所	実施日	実績・内容
市民活動サポート研修 「マネジメント研修①」	なごみん	6/5	参加者数(受講者) :11 人(8 団体) 市民活動を始めた人や始めたばかりの団体を対象に、「市民活動団体ってなあに?」をテーマに開催した。市民活動センターの鈴木センター長を講師として、市民活動団体の登録制度やメリット、団体運営をしていく上のポイントを、事例を交えながら研修した。
市民活動サポート研修 「マネジメント研修②」	なごみん	11/13	参加者数(受講者) :13 人(10 団体) 新規に市民活動団体登録された団体やこれから団体登録を目指す団体が、模範となる団体から「団体運営のポイント」について助言を聞く機会を設けた。グループに分かれて情報交換や意見交換をする場を提供し、活動の幅を広げる機会となった。その結果、2 団体が新たに市民活動団体の登録に至った。
市民活動サポート研修 「イベント運営レベルアップ研修①」	よりなん	5/23	参加者数(受講者) :16 人(12 団体)／講師 1 人／ボランティア 1 人 市民活動団体がイベントや講座を開催する上での基礎を学ぶ研修会を開催。名古屋を拠点に活動する「おやこラボ」に講演いただき、その後よりなんからイベントの企画、準備、運営のポイントなどを伝えた。本研修を受けた団体は秋までに実践いただき、第 2 回研修で振り返りを行う。
市民活動サポート研修 「イベント運営レベルアップ研修②」	よりなん	12/7	参加者数(受講者) :10 人(7 団体) 入門編(研修①)でイベント開催のノウハウを学び、その後受講団体は実践の機会をもち、今回は振り返り編として開催。実践イベントは 10 回開催され、一般来場者

			138人が受講した。 イベント運営における課題解決力が向上し、活動基盤の強化に繋げられた。グループワークでは反省点や気づきを団体同士で共有し、アドバイスしあう姿が見られた。また、新たな協働が生まれる機会にもなった。
市民活動サポート研修 「SDGs 研修」	やはぎかん	8/29 9/27	参加者数(受講者):25人(11団体)、協力3団体／講師:6人 基礎編と応用編として2回を開催した。基礎編では自分の「SDGs宣言」を行うことで考えるきっかけを提供し、応用編では地域や団体間でのパートナーシップの大切さを学ぶ機会を提供した。 いずれの講座も、団体活動にSDGsの視点を取り入れることで団体の信頼性や継続性を高め、持続可能な活動を目指す必要性を理解してもらうきっかけづくりができた。
市民活動サポート研修 IT利活用研修	むらさきかん	1/25	参加者数(受講者):28人(20団体)、協力:2団体／講師:2人 岡崎市視聴覚ライブラリーの杉坂和俊氏から、情報モラルと情報リテラシーの両方を高める必要性を講演いただき、佐藤仁泰氏からは生成AIを活用したPTA活動を事例として講演いただいた。これらを通じ、市民活動団体はデジタルツールを安心・安全かつ効果的に活用していく基礎知識を取得し、活動への意欲を高めもらうことができた。
市民活動サポート研修 「おかざき市民活動情報ひろば 活用研修」	悠紀の里	5/15～ 6/30	参加者数(受講者):14人(6団体) 「おかざき市民活動情報ひろば」の基本的な操作を市民活動団体が使いこなせるよう、「お知らせ」「イベント」「活動紹介」「(ボランティアなどの)募集」の各カテゴリーを、マンツーマンで研修した。各団体1～2時間程度にわたりて研修を行い、団体の情報発信に役立てていただいた。

(2)市民活動団体の連携の推進及び強化につながる交流事業

事業名	実施場所	開催日	実績・内容
地域交流サミット 「暮らしをまもる」	なごみん	2/13	参加者数25人(4団体)、協力:1団体／講師4人 子どもたちを取り巻く環境の変化と防犯に関して、講演や2つの事例発表を開催し、地域の様々な方々や市民活動団体と意見交換をした。防犯アドバイザーの意見なども取り入れながら、ソフト・ハード両面で地域社会が必要とする取り組みは何なのかを共有・認識することができた。

市民活動エキspo	よりなん	1/25	参加者数:389人、出展:15団体／ボランティア2人 市民活動団体、地域活動団体、企業などが出展し、体験や展示を通じて活動をPR。来場者はブースラリーなどを通じて団体の活動を知る機会となった。また、開催にあたっては実行委員会形式を取り、出展団体間の話し合いや交流する機会を設けることができた。
ボランティア交流会	やはぎかん	12/4	参加者数:28人(17団体)、協力:2団体、出展2団体／講師2人 ボランティアの基礎知識や受入の心得を学んだ後、学生ボランティアの現状や受入の工夫、マッチングの課題など、現場の声を聞く機会を提供した。グループワークでは、ボランティアに関する考えについて意見交換をしたことで、他団体への理解が深まり、他団体の事業参加に繋がった例もみられた。 ギャラリー展示では、身近なボランティアを実施している人物を取材した記事を展示し、広く周知することができた。
活躍人！交流会～食品ロス対策～	むらさきかん	8/24	参加者数:25人(21団体)／講師2人 愛知学泉短大食物栄養学科や認定NPO法人葵風による事例紹介を通じて、食品ロスを発端とする社会課題を自分事として捉えもらうことが出来た。グループワークでは食品ロス削減についてグループ内で意見交換することで、協力体制が生まれ協働に繋がる機運が高まった(アンケート結果では8件の協働可能性が見られた)。
ゆきファミリーパーク	悠紀の里	10/13	参加者数:662人、協力:2団体、出展17団体／ボランティア21人 実行委員会を立ち上げ、子育て世代向けのイベントを開催した。今年度はパパマイスター登録者や企業の出展にも繋がり、来場者に好評だった。出展団体には団体同士の相互理解を深める機会として当日イベント以外に、子育て支援交流会、PRチラシや館内装飾の製作日、当日相互のブース体験時間を用意し、交流と連携を深めるきっかけを提供した。

⑥ 地域と連携した市民活動の活性化に寄与する事業

事業名	実施場所	実施日	実績・内容
聾学校×地域 協働創出事業	なごみん	7/31、8/2	参加者数:86人、聾学校(先生・生徒)34人、団体13人(1団体)、協力:2団体／ボランティア2人 岡崎聾学校と地域との連携を生み、地域活動の活性化を目的とした手話交流会を開催。高等部と中等部でそれぞれ開催し、今回は岩津マジッククラブと協働し、参加者全員でマジックの体験をし交流を深めた。

なごみん横丁	なごみん	8/6、 7、8	参加者数:669 人、協力:6 団体／ボランティア:195 人 市民活動団体や企業等と協働して、こどもたちが自ら 考え行動するまちづくりイベントを開催。ボランティアに は高校 5 校が協力。企業・団体連携では 7 社・団体が 参加し、子どもたちに“仕事”を提供したり、物品を提供 したりするなど、多様な主体と協働し、こどもと地域の接 点を創出できた。 また、子どもたちがゼロからまちを作っていくことで、自 分ごととしてまちづくりやまちの運営を体験してもらうこ とができた。
地域とつながる協働交流会	よりなん	11/30	参加者数:14 人(12 団体) 異なるテーマや異業種間で協働する利点、コミュニケーションの取り方、相談窓口について情報共有を行 い、課題解決に向け自団体ができるることを共有する場 を設けた。また、他団体との繋がりを促進するための 「活動が分かるもの交換会」を実施し、協働の大切さや 理解度を増す機会を提供できた。13 の協働パートナ ーの芽が生まれた。
花のとう支援事業	やはぎか ん	5/12	参加者数:300 人、協力:1 団体、出展:3 団体／ボラン ティア:2 人 (※やはぎかん担当ブースの数値) 矢作地域の伝統行事「花のとう」の実行委員会と協働 し、花のとう開催に向けた広報活動やマッチング、会議 運営支援などを行った。催事日には、花のとうの由来 や伝統、地域とのつながりを市民に啓発する展示ブー スを設け、多世代に発信し、同行事を啓発した。
防災交流会	やはぎか ん	6/29	参加者数:49 人(15 団体)、協力:2 団体、出展:14 団 体／ボランティア:16 人 市民活動団体である岡崎ボードゲーム会や守ろう子ど もと赤ちゃんと協働し、防災ボードゲームや防災体験コ ーナーを設営した。多くの学生ボランティアも関わり、 大人も子どもも楽しみながら防災を学べる設えとなっ た。また、14 の市民活動団体による展示も、防災に關 する情報発信と啓発に繋がり、大変好評だった。
むらさき麦まつり連携事業 「市民活動博覧会」	むらさきか ん	5/18	参加者数:1,153 人(20 団体)、ボランティア:1 人 市民活動団体等による体験会を 12 ブース、作品や活 動紹介の展示を 13 ブース、販売を 4 ブース設置し、 市民活動の PR と啓発を行った。また、藤川まちづくり 協議会主催の「むらさき麦まつり」と同時開催し、連携 やサポートを行ったことで双方の人の回遊が生じ、 多様な層に市民活動や地域活動を啓発できた。
むつみ地域交流会	悠紀の里	9/8	参加者数:42 人(28 団体)、協力:2 団体、出展:2 団 体／ボランティア 2 人

			むつみ地域包括支援センター及び南部地域包括支援センターと協働し、六ツ美地域の連携を図ることを目的に開催。今回は防災をテーマに、ファーストミッションボックスの体験と意見交換を行った。 地域総代だけでなく、学区社教の防災関係者や女性自主防災の方にも参加いただき、多様な交流機会となつた。
--	--	--	--

⑦周年記念事業

事業名	実施場所	実施日	内容・成果
悠紀の里開館 10 周年 記念事業「ゆきフェスタ」	悠紀の里	2/15、 16	参加者数:4,247 人、協力:17 団体、出展:42 団体／ボランティア 30 人 2 日間にわたり周年事業を開催した。悠紀の里サポート会による歴史民俗資料室案内ガイドツアーや、香川県綾川町のそばの振る舞い、地域団体と学泉短期大学が協働したお菓子のレシピ開発など、市民活動を行う団体に加え、地域団体・学校・企業・行政(ふくし相談課・福祉センター・地域包括支援センター)など垣根を超えた協働を図ることができ、地域の活動を活発化し発信することができた。

(キ) 自主事業

① 移動販売車・ブース出展の誘致

概要：駐車場での移動販売車営業及び館内フリースペースでのブース販売を行う事業者等を募り、指定したスペースでの販売活動を認めた。

令和 6 年度は試験導入とし、利用者ニーズや出店料の妥当性等を調査した。

対象施設：よりなん、やはぎかん、むらさきかん、悠紀の里

実施期間：令和 6 年 12 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日（休館日除く）

初めての出店となったのは 1 月 7 日だった。

販売品目：軽食、弁当、飲み物、デザート及び物販（飲食物は保健所の許可品目に該当する物）

出店料等：試験導入のため登録料、出店料ともに無料。

岡崎市に支払う目的外使用料は指定管理者が負担した。

結果：出店登録者数は 21 件。1 月から 3 月にかけての出店数は下記表のとおり。

センター名	移動販売車出店数	館内ブース出店数
よりなん	8	5
やはぎかん	16	4
むらさきかん	10	12
悠紀の里	2	3
合計	36	24

	最小値	最大値	平均値
客数	3人	38人	13人
売上	525円	42,450円	8,856円

やはぎかんでおにぎりを販売していた出店者に対して、利用者から「活動後に帰宅しても昼食を作る時間がないので、大変ありがたい」、近隣住民からは「近くで一人暮らしをしている。買い物が楽になり非常にありがたい」という好意的な感想の声が寄せられ、反響が感じられた。

②窓口での消耗品販売

概要：利用者のセンター利便性向上の観点から、センター窓口で購入できる消耗品を追加した。

結果：販売実績は下表のとおり。販売数は多くないものの、利用者が持参し忘れたり、利用に困る際のサポートとなった。

販売品目	販売価格 (税込み)	北部	南部	西部	東部	え 美	合計
紙おむつ(M・L)	300円	0	0	0	1	0	1袋 300円
キッチンペーパー	300円	0	0	0	0	0	0袋 0円
スポンジ	100円	—	0	0	0	0	0個 0円
水切りネット(排水溝用・ 三角コーナー用)	10円	—	2	0	7	11	20枚 200円
マスク(大人用)	50円			2		2	4枚 200円

3 法人運営に関する事項

(1)総会

ア 第19回通常総会

(ア) 開催日時及び場所 2024年6月27日(木) 10:30~11:30

岡崎市図書館交流プラザりぶら 301会議室

(イ) 議題<審議事項> ①2023年度 事業報告書(案)及び決算書(案)について
②2024年度 役員体制(案)について
③2024年度 事業計画(案)及び事業予算(案)について
④役員報酬支給(案)について

(2)理事会

ア 第1回理事会

(ア) 開催日時及び場所 2024年6月4日(火) 10:30~11:30

岡崎市図書館交流プラザ・りぶら 302会議室

(イ) 議題<報告事項> 「役員費用弁償規程」の改正(案)
<審議事項> ①2023年度 事業報告書(案)及び決算書(案)
②2024年度 役員体制(案)

- ③2024年度事業計画書(案)及び事業予算(案)
- ④役員報酬支払額(案)
- ⑤常勤職員の夏季賞与(案)

イ 第2回理事会

- (ア) 開催日時及び場所 2024年6月27日(木) 11:30~11:40
岡崎市図書館交流プラザ・りぶら 301会議室
- (イ) 議題<審議事項> 理事長・副理事長の選定

ウ 第3回理事会

- (ア) 開催日時及び場所 2024年8月29日(木) 10:30~11:15
岡崎市図書館交流プラザ・りぶら 302会議室
- (イ) 議題<報告事項> ①事業進捗報告(2024年4~6月)
<審議事項> ①拠点運営パートタイム労働者の賃金改定(案)

エ 第4回理事会

- (ア) 開催日時及び場所 2024年11月26日(火) 10:30~11:30
岡崎市図書館交流プラザ・りぶら 302会議室
- (イ) 議題<報告事項> ①事業進捗報告(2024年7~9月分)
②2024年度上半期決算(4~9月期)
<審議事項> ①常勤職員の冬季賞与(案)について
②パートタイム労働者への生活支援一時金の給付(案)

オ 第5回理事会

- (ア) 開催日時及び場所 2025年2月27日(火) 10:30~12:00
岡崎市図書館交流プラザ・りぶら 302会議室
- (イ) 議題<報告事項> ①事業進捗報告(10~12月分)
②「育児・介護休業等に関する規程」の改正
③「フレックス勤務規程」の改正
<審議事項> ①職員の昇給(案)
②2025年度4~6月 暫定活動予算書(案)
③2025年度における事業計画(案)
④岡崎市桜花咲プロジェクト及び災害時対応団体に対する寄付(案)

(3)その他

ア 第2回事業提案フォーラム

- (ア) 開催日時及び場所
7月29日(月) 13:00~16:00 市民会館リハーサル室第2号室
- (イ) 概要
 - ・りた内外の潜在的な資源を活用し、りたの強みを活かした事業開発や地域ニーズへの対応充実を図ることを目的として、意見交換・協議を経てより良い事業や取組を生み出すという性格

が強いことから、「事業提案コンテスト」という名称から「事業提案フォーラム」という名称に変更して開催した。

- ・『提案』『ブレスト』『報告・相談』の3部門を設け、「地域の課題解決」「地域の魅力向上」のための事業や「りたの業務改善や会員拡大、コミュニティ醸成等に資する提案、もしくはアイデア」をりた全職員対象に募集した。
- ・フォーラムには、23名の参加。『提案』3件『ブレスト』5件『報告・相談』1件・合計9件の応募があった。
- ・提案された事業・アイデアは、採択（詳細は継続して検討）／見送りを仕分け、採択されたものについては順次実現を図っていく（特別に予算措置が必要なものは理事会等での審議を経て実施）。

活動計算書
令和6年 4月 1日 ~ 令和7年 3月 31日まで

(単位:円)

科 目	金 額			備 考
I 経常収益				
1. 受取会費	210,000			13団体、個人19名
正会員受取会費	65,000			4団体、個人5名
賛助会員受取会費				
2. 受取附金	1,467,510			日本NPOセンター ソフト導入支援
受取寄附金				
3. 受取助成金等	1,150,000			一財)ハウシングアンドコミュニティ財団・西梅園菜園PJ
受取助成金				
4. 事業収益				
1) まち育て推進事業収益				カーポンニュートラル人材育成業務
学習機会事業	3,993,000			地域包括ケアシステム支援
調査研究事業	4,130,000			「HARMO設立支援・公園愛護運営会設立支援・三郷駅前プロジェクト」 公園マチノハ会議運営賛助・安城市公園再整備基本構想ワークショップ
対話協働事業	12,793,700			
2) 市民活動支援事業収益				りぶら市民活動センター運営
相談助言事業	9,783,761			岡崎市地域交流センター(東・西・南・北・六ヶ美分館)指定管理
拠点運営事業	176,321,411			
3) その他事業収益				岡崎百景冊子販売
情報発信事業	1,500			岡崎公園あり方検討業務・岡崎市職員研修 他
専門家派遣事業	3,026,050			
5. その他収益	49,054			岡信・ろうきん・JAあいち 普通預金 利息
受取利息	787,091			駐車場料賃従業員負担分・協賛金・ポイント
雑収益				
経常収益計				
II 経常費用				
1. 事業費				
(1) 人件費				
給料手当	103,556,305			
法定福利費	8,216,856			
人件費計	111,773,161			
(2) その他経費				
仕入	242,696			
外注費	48,022,348			
旅費交通費	867,210			
通信費	396,852			
消耗品費	5,381,513			
接待交際費	76,904			
会議費	33,552			
賃借料	2,441,443			
支払手数料	447,177			
保険料	184,006			
新聞図書費	654,000			
修繕費	66,137			
租税公課	12,797,682			
研修費	76,600			
広告宣伝費	437,860			
雑費	152,440			
その他経費計	72,278,420			
事業費計				
2. 管理費				
(1) 人件費				
役員報酬	3,960,000			
給料手当	8,126,007			
法定福利費	1,958,166			
福利厚生費	2,562,446			
人件費計	16,606,619			
(2) その他経費				
外注費	112,200			
旅費交通費	106,900			
通信費	385,187			
消耗品費	2,155,254			
水道光熱費	165,447			
接待交際費	12,925			
会議費	12,110			
賃借料	2,010,030			
支払手数料	234,610			
諸会費	67,600			
保険料	517,394			
支払報酬	1,468,500			
新聞図書費	32,400			
租税公課	50,923			
減価償却費	75,107			
寄付金	400,000			
広告宣伝費	54,730			
費用弁償	288,000			
雑費	318,435			
その他経費計	8,467,752			
管理費計				
経常費用計				
当期経常増減額				
III 経常外収益				
1. 過年度損益修正益				
経常外収益計				
IV 経常外費用				
1. 過年度損益修正損				
経常外費用計				
税引前当期正味財産増減額				
法人税、住民税及び事業税	4,652,125			
当期正味財産増減額	855,400			
前期繰越正味財産額	3,796,725			
次期繰越正味財産額	62,726,556			
	66,523,281			

計算書類の注記

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。(取得価額が30万円未満である減価償却資産は、一定の要件のもとに一部損金処理しています。)

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	学習機会事業	調査研究事業	対話協働事業	相談助言事業	拠点運営事業	情報発信事業	専門家派遣事業	事業部門計	管理部門	合計		
I 経常収益												
1. 受取会費								0	275,000	275,000		
2. 受取寄附金		1,150,000						0	1,467,510	1,467,510		
3. 受取助成金等	3,993,000	4,130,000	12,793,700	9,783,761	176,321,411		1,500	3,026,050	210,049,422	210,049,422		
4. 事業収益					30,046				30,046	836,145		
5. その他収益									0	22,525,762		
6. 事業費振替収入										22,525,762		
7. 管理費振替支出										△ 22,525,762		
△ 859,189	△ 1,085,769	△ 3,322,735	△ 1,426,715	△ 15,469,158		△ 1,500	△ 360,696	△ 22,525,762				
経常収益計	3,133,811	4,194,231	9,470,965	8,357,046	160,882,299		0	2,665,354	188,703,706	25,074,371	213,778,077	
II 経常費用												
(1) 人件費												
役員報酬								0	3,960,000	3,960,000		
給料手当	852,351	2,615,135	2,593,957	6,359,924	89,282,046		1,852,892	103,556,305	8,126,007	111,682,312		
法定福利費	124,730	373,893	214,069	449,021	6,780,622		274,521	8,216,856	1,958,166	10,175,022		
福利厚生費								0	2,562,446	2,562,446		
人件費計	977,081	2,989,028	2,808,026	6,808,945	96,062,668		0	2,127,413	111,773,161	16,606,619	128,379,780	
(2) その他経費												
仕入	1,705,700	2,395,800	4,962,100		242,696			242,696		242,696		
外注費	7,700	64,910	101,870	17,810	38,810,248		148,500	48,022,348	112,200	48,134,548		
旅費交通費					637,390		37,530	867,210	106,900	974,110		
通信費			780	440	395,632			396,852	385,187	782,039		
消耗品費		10,955			34,223	5,335,383		952	5,381,513	2,155,254		
水道光熱費								0	165,447	165,447		
接待交際費	6,276	3,500			67,128			76,904	12,925	89,829		
会議費					33,552			33,552	12,110	45,662		
賃借料					288,200	2,153,243		2,441,443	2,010,030	4,451,473		
支払手数料				660	16,324	430,193		447,177	234,610	681,787		
諸会費						184,006		0	67,600	67,600		
保険料						654,000		184,006	517,394	701,400		
支払報酬						66,137		0	1,468,500	1,468,500		
新聞図書費								654,000	32,400	686,400		
修繕費								66,137		66,137		
租税公課	197,496		671,429	793,750	10,888,535		246,472	12,797,682	50,923	12,848,605		
減価償却費								0	75,107	75,107		
寄付金								0	400,000	400,000		
研修費					21,600			76,600		76,600		
広告宣伝費		55,000			437,860			437,860	54,730	492,590		
費用弁償								0	288,000	288,000		
雑費					148,940			3,500	152,440	318,435		
その他経費計	1,917,172	2,530,945	5,736,499	1,150,307	60,506,543		0	436,954	72,278,420	8,467,752	80,746,172	
経常費用計	2,894,253	5,519,973	8,544,525	7,959,252	156,569,211		0	2,564,367	184,051,581	25,074,371	209,125,952	
当期経常増減額	239,558	△ 1,325,742	926,440	397,794	4,313,088		0	100,987	4,652,125		0	4,652,125

3. 活動原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳

2024年度 ボランティア利益換算

算定方法: 単価は愛知県の当該年度最低賃金¥1077

区分	事業名	ボランティア		利益換算 (小計)
		延べ人数	延べ時間	
北部	市民活動サポート研修	0	0.0	0
	地域交流サミット「くらしをまもる」	0	0.0	0
	なごみん横丁	195	975.0	1,050,075
	聾学校×地域 協働創出事業	2	5.0	5,385
	ふれあいひろば	853	507.0	546,039
	情報誌「まちのワ！」発行事業	15	15.0	16,155
	市民活動団体情報発信事業	0	0.0	0
小計		1,065	1,502.0	1,617,654
南部	市民活動サポート研修	1	2.0	2,154
	市民活動エキスポ	2	7.0	7,539
	地域とつながる協働交流会	0	0.0	0
	ふれあいひろば	1,673	1,262.5	1,359,713
	情報誌「まちのワ！」発行事業	0	0.0	0
	市民活動団体情報発信事業	0	0.0	0
	小計	1,676	1,271.5	1,369,406
西部	市民活動サポート研修	0	0.0	0
	ボランティア交流会	0	0.0	0
	防災交流会～ゲームを通して防災意識を高めよう～	56	103.0	110,931
	花のとう支援事業	4	16.0	17,232
	ふれあいひろば	1,090	569.0	612,813
	情報誌「まちのワ！」発行事業	0	0.0	0
	市民活動団体情報発信事業	4	4.0	4,308
小計		1,154	692.0	745,284
東部	市民活動サポート研修	0	0.0	0
	活躍人交流会～フードロス対策、エシカル消費～	0	0.0	0
	むらさき麦まつり連携事業「市民活動博覧会」	21	14.0	15,078
	ふれあいひろば	835	835.0	899,295
	情報誌「まちのワ！」発行事業	0	0.0	0
	市民活動団体情報発信事業	0	0.0	0
	小計	856	849.0	914,373
六ツ美	市民活動サポート研修	0	0.0	0
	子育て支援団体ワークショップ×ゆきファミリーパーク	38	101.0	108,777
	むつみ地域交流会	2	4.0	4,308
	ふれあいひろば	767	433.0	466,341
	情報誌「まちのワ！」発行事業	0	0.0	0
	市民活動団体情報発信事業	0	0.0	0
	開館10周年記念事業	41	161.0	173,397
小計		848	699.0	752,823
市活	まちびとバンクシステム	2	48.0	51,696
	情報発信事業	0	0.0	0
	小計	2	48.0	51,696
まちT	公園愛護運営会設立支援	0	0.0	0
	地域包括ケア支援	0	0.0	0
	カーボンニュートラル人材育成業務	7	28.0	0
	下山学区農村RMO形成推進業務	0	0.0	0
	西梅園路地菜園プロジェクト	17	66.0	71,082
				0
				0
小計		24	94.0	71,082
合計		5,625	5,155.5	5,522,318

※2022年度より「運営ボランティア」の呼称を「ボランティア」に変更

※2022年度より日常業務に関わるボランティアは、施設ボランティアとして「ふれあいひろば」に含む

4. 使途等が制約された寄付金等の内訳

使途等が制約された寄付金等の内訳は以下の通りです。当法人の正味財産は66,523,281円ですが、そのうち2,001,110円は、下記のように使途が特定されています。したがって使途が制約されていない正味財産は64,522,171円です。

(単位:円)

内 容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備 考
基金事業	2,000,092	1,018	0	2,001,110	事業のための基金
合 計	2,000,092	1,018	0	2,001,110	

5. 固定資産の増減内訳

固定資産の増減は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	期首取得価額	取 得	減 少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
車両運搬具	1,067,643	0	0	1,067,643	△ 1,067,642	1
什器備品	917,220	0	0	917,220	△ 870,819	46,401
合 計	1,984,863	0	0	1,984,863	△ 1,938,461	46,402

6. 事業費と管理費の按分方法

各事業の経費及び事業費と管理費に共通する経費のうち、給与・賞与及び法定福利費については従事割合に基づき按分しています。

貸借対照表

令和7年3月31日現在

特定非営利活動法人 岡崎まち育てセンター・りた

単位:円

科目・摘要	金額
I 資産の部	
1 流動資産	
現金預金	70,864,476
事業基金用預金	2,001,110
商品	104,237
未収金	16,583,743
前払金	541,989
流動資産合計	90,095,555
2 固定資産	
車両運搬具	1
什器備品	46,401
長期前払金	8,400
保証金	361,750
固定資産合計	416,552
資産合計	90,512,107
II 負債の部	
1 流動負債	
未払金	19,166,008
前受金	8,000
預り金	385,718
未払消費税	3,573,700
未払法人税等	855,400
流動負債合計	23,988,826
負債合計	23,988,826
III 正味財産の部	
前期繰越正味財産	62,726,556
当期正味財産増減額	3,796,725
正味財産合計	66,523,281
負債及び正味財産合計	90,512,107

注1) 固定資産に関する減価償却計算の方法は、以下のとおり

1. 建物定額法
2. 建物附属設備定額法
3. 車両運搬具定率法
4. 什器備品定率法

財産目録
令和7年3月31日現在

特定非営利活動法人 岡崎まち育てセンター・りた

単位:円

科目・摘要	金額
I資産の部	
1流動資産	
現金預金	
現金 現金手許有高	401,637
普通預金 岡崎信用金庫本店	70,191,922
普通預金 岡崎信用金庫岩津支店	19,580
普通預金 岡崎信用金庫上地支店	10,203
普通預金 岡崎信用金庫矢作支店	19,610
普通預金 岡崎信用金庫美合支店	7,997
普通預金 岡崎信用金庫中島支店	42,606
普通預金 東海労働金庫岡崎支店	150,072
普通貯金 あいち三河農業協同組合竜城支店	20,849
普通預金 岡崎信用金庫本店（事業基金用）	2,001,110
商品	
コピー用紙・パウチフィルム・水切りネット・おむつ他	104,237
未収金	
カードニュートラル人材育成業務	3,993,000
三郷駅前周辺まちづくりデザイン検討支援業務	3,888,500
公園愛護運営会設立支援業務	2,398,000
安城市公園再整備基本構想ワーキング業務	1,500,000
地域包括ケアシステム支援業務	1,378,000
岡崎公園あり方検討業務	1,100,000
西梅園地域菜園プロジェクト助成金	949,577
公園マジパト会議運営補助業務	583,000
空き家等流通・活用促進プラットフォーム相談業務	363,000
マンホールカード配布委託業務	242,000
行政専門家派遣2件	16,200
雇用保険料等従業員負担金	114,179
各センター・カフェ売上、物品販売、作業室、コピー機使用料	22,830
自動販売機手数料収入	35,457
前払金	
警備保守料 令和7年4月以降分	209,880
事務局家賃 令和7年4月分	100,000
當繪車両任意保険、メンテナンスパック 令和7年4月以降分	90,247
駐車場地代 令和7年4月分	54,500
法務顧問・顧問料 令和7年4月分	27,700
電子証明書手数料 令和7年4月以降分	20,086
普通傷害・NPO賠償保険料 令和7年4月以降分	28,326
レンタルコンテナ 令和7年4月分	11,250
流動資産合計	90,095,555
2固定資産	
車両運搬具	
當繪用軽車両1台	1
什器備品	
事務局パソコン1台	1
事務局ファイヤーオール	1
事務局オンラインセキュリティ機器	46,399
長期前払金	
當繪用車両リサイクル預託金	8,400
保証金	
事務局	300,000
駐車場	61,750
固定資産合計	416,552
資産合計	90,512,107
II負債の部	
1流動負債	
未払金	
職員3月分給与	8,726,013
設備管理・事業業務委託料	4,148,589
各受託事業チラシ・パンフレット等製作費、委託外注費	4,720,650
備品・事務用品購入、備品リース料、印刷代	822,660
法人負担3月分社会保険料	551,053
電話料金3月分	53,140
出張・会議交通費等未精算分	100,901
税理士報酬3月分	27,500
電気代3月分	15,502
前受金	
第20期キッチンカー出店登録料	8,000
預り金	
住民税	174,500
源泉所得税	188,978
共済会職員給付金	20,000
令和6年度修繕費返納金	2,240
未払消費税	
第19期分消費税 確定申告分	3,573,700
未払法人税等	
第19期分法人税・地方法人税	545,000
第19期分法人県民税・法人事業税	230,400
第19期分法人市民税	80,000
流動負債合計	23,988,826
負債合計	23,988,826
正味財産	66,523,281